

掘割は大切な柳川の財産

5月26日(日)は掘割の日 清掃活動に積極的な参加を



市は、平成19年に施行した「柳川市掘割を守り育てる条例」で、毎年5月の第4日曜日を「掘割の日」としています。これは、市民の水環境保全についての関心と理解を深め、市民参加による水環境保全活動の意欲を高めることが目的です。

今年は5月26日(日)を中心に、行政区などで清掃活動が行われます。それぞれの地区で清掃活動が行われるときは、皆さんの積極的な参加をお願いします。

問い合わせは、市水路課水路管理係(☎77・8742)まで。



堀干し期間中の3月3日に行われた、「堀と道」クリーンアップ大作戦。行政区や老人会など地域住民約2000人が、掘割治いの歩道や護岸の除草、落葉などを集めて清掃した。

●柳川ブランド認定品

	商品名	製造者
第1回 (23年)	柳川名物手づくりおひさまいちじく	JA 柳川
	福岡のり	福岡有明海漁協
	米せんべい	坂田屋菓子店
	有明育ち「塩のり」	(株) マルホ
	海茸粕漬	(株) 水産堂
	貝柱粕漬	(株) 水産堂
	うなぎのポリット	(株) 高橋商店
	Yuzusco (ゆずすこ)	(株) 高橋商店
	柳川蒸し	関屋蒲鉾 (株)
	ひまわり焼酎	目野酒造 (株)
第2回 (24年)	吟の梅	目野酒造 (株)
	へそ栗山	へそ栗山本舗松福
	越山餅	白雪堂越山
	うなむす	皿屋 福柳
	白秋あわせ	鶴味噌醸造 (株)
第3回 (25年)	純柳川産のりネーヅ	(有) 清柳食産
	越山もち	(株) 梅花堂越山
	宝くじ入れ神棚	古賀神棚店
	田舎あわせみそ	アサヒ醸造 (株)
	柳川手造りもろみしよんしよん	森山醸造食品(有)
	のりクロ	(株) 高橋商店
	柳川名産 焼のり (丸缶)	(株) 丸川海苔

今回は39品が推薦を受け、そのうちの4品がブランド認定されました。認定された商品は、3年間、柳川ブランドの認定品として認定シールを貼って販売することができます。

この他、同協議会が作る認定商品のパンフレットへの掲載や物産展への出展によるPR、百貨店などの商談会への案内、よかもんまつりや市内の催しでの展示販売など、販売促進に向けた協力を同協議会が行います。

認定された商品には、認定後、売り上げを2倍近く伸ばした商品もあり、認定による効果が上がっています。

問い合わせは、市柳川ブランド推進室(☎77・8722)まで。



【写真右】中華厨房「川龍」代表の江口英章さん【写真下】現在販売中の「苺王杏仁豆腐」

人たちから選ばれたので、素直にうれしいです。また、この事業に参加したことで、他のお店とも仲良くなることができましたので良かったですね」と話しました。



柳川ブランド認定品に選ばれたアサヒ醸造(株)の「田舎あわせみそ」、森山醸造食品(有)の「柳川手造りもろみしよんしよん」、(株)高橋商店の「のりクロ」、(株)丸川海苔の「柳川名産 焼のり(丸缶)」(右から)



【写真上】4月26日に行われた第3回柳川ブランド認定式【写真右】市内の風景なども一緒に紹介しているブランド認定品のカタログ



市内の農漁業団体や商工・観光団体などで作る柳川ブランド推進協議会は4月26日、第3回柳川ブランド認定式を福岡県有明海水産会館で行いました。式では、柳川を代表すると認められた商品を製造する4業者に認定証が授与されました。これで認定商品は、昨年までに認定された18品と合わせて22品となりました。

4つの商品を柳川ブランドに認定

市内で生産される産品の中から、柳川を代表する商品を「柳川ブランド認定品」として、販売を促進させる柳川ブランド認定事業。柳川ブランドとして認定し、積極的に情報発信することで、市の知名度を上げ、生産者の意欲を高めて地域の活性化につなげるという大きな目標があります。

認定商品の選び方は、まず「これぞ柳川のおすすめ」と思う商品を市民などに募集します。推薦された商品の生産者に、認定を受けたか意思を確認。賛同した生産者から改めて申請してもらい、商品が食品衛生法やJAS法、製造物責任法などの基準を満たしているかを確認します。

その後、学識経験者や流通業者などからなる第三者機関が、商品の安全性や信頼性、地域性などの審査基準に基づき1次審査を実施します。

さらに、生産者のヒアリングや一般消費者による試食審査を行う2次審査を経て決定します。

うまかもんづくりくちよ3 スタンプラリー期間中 来店客増のお店が9割

柳川の特産品を使って新しい名物を作る「うまかもんづくりくちよ」。今回は柳川産の「イチゴ(あまおう)」「ナス」「アカガイ(サルボウ)」を素材にして行われました。柳川雛祭り・さげもんめぐりに合わせて、新商品を作った12店舗を食歩くスタンプラリーを開催。期間中は、約9割の店舗がいつもと比べて来店客が増え、特に女性が多く来店。また6割以上の店舗で他の商品の売り上げも増加しました。

参加店舗からは、「期間中は新しい客層、特に若い女性に来店してもらえた」「新商品の開発のきっかけになった」などの意見が聞かれました。

最優秀商品は「苺王杏仁豆腐」

4月22日、うまかもんづくりくちよ3交流会が開かれ、今回生まれた新商品の中から、中華厨房「川龍」の「苺王杏仁豆腐」(現在も販売中)が最優秀商品に選ばれました。代表の江口英章さん(今古賀は「スタンプラリー」に参加した